

第4回全体ミーティングへの To Do

RIKEN/AICS

将来HPCIあり方調査研究「アプリ分野」

計算科学白書第2版へ向けて

• 執筆要領

- 目次、テンプレート: WEBからダウンロード
- 第1回12月14日(金)締切
- 第2回1月末

• レビューシステムを設ける。

- 一度、まとめたもの(今年度版)をWEBに乗せて公開。
- 所属と氏名の記名付きで、コメントをもらう。
- 2月の第5回全体ミーティングで合意されればよし。

• 英語版

- 海外への日本のアクティビティ紹介のため、英語版必要。
 - 想定は、来年度？
 - 3月のWSにむけてPPT必要。

• ミニアプリ化(○本程度)の成果をしっかりと乗せる。

執筆取りまとめ担当

- 戦略5分野は従来通り
- 戦略5分野以外のもの
 - 社会科学(経済): 和泉先生、伊藤先生
 - 計算機科学(グラフ処理・ウェブデータ、統計処理): 未
 - エージェント系・・・産総研、野田先生 ←伊藤先生確認
 - 大規模実験データとの連携
 - SACLAとの連携: 池口先生
 - 素粒子実験との連携課題: 石川先生@広大
 - 観測との連携(衛星・観測データ): 石川先生@JAMSECとりまとめ
 - 既存連携課題
 - 生体: 池口先生
 - 惑星・宇宙: 林祥介先生、牧野先生
 - 防災: 堀(JAM)、堀宗朗(AICS)
- 各分野でカウンターパートの方を紹介してほしい。

白書：検討事項

- 課題を遂行するための総計算量が必要
 - 2020年ごろの国内総計算量
(今後のHPCI計画推進のあり方に関する検討WGからの依頼)
- 大規模データ、ビッグデータの処理
 - ただ単に機能を要求するのではなく、どう使うのか、ユーザーベースで意見をいただきたい。システム側に早めに情報をあげてほしい。
(石川@東大)
- 白書に実験家のニーズ(I/O、ネットワーク等)書き込めたらよい。
(杉田)
- 4FSの社会的・科学的課題の抽出作業をどうマージしていくか？
 - 防災： JAMSTEC堀先生、東大堀先生、どちらにも入っているので、つながりが可能。
 - 気象： アプリFS側は、JAMSTEC河宮先生、東北大FS側は？
 - モノづくりは：アプリFS側は高木先生、東北大FS側は？

ミニアプリ化作業予定

- 10月から3月
 - ミニアプリ化作業
 - フルアプリ情報補完
- 2月末: フルアプリ受付第2回締切予定
- 5月頃: フルアプリ受付第3回締切予定
- 5月から2013年夏頃
 - ミニアプリ化作業
 - 同時並行してアーキFSと共同で提案アーキ向けのミニアプリの拡張
- 2013年秋から2014年3月
 - アーキFSと共同で提案アーキ向けのミニアプリの拡張
 - ミニアプリのアップデート

※ プログラムドキュメントの提出をお願いします。
(他のアーキテクチャでチューニングできるように)

重要日程まとめ

- 11月20日: 第3回全体ミーティング@東京
- 12月20日: 10:00 プログラム推進員会@文科省
- 12月14日 第1回サイエンスロードマップ締切
- 1月21日: 第4回全体ミーティング@東京
- 1月末: 最終サイエンスロードマップ締切
- 2月末 第2回フルアプリ提供締切
- 2月18日: 第5回全体ミーティング@東京
 - 2月末には、今年度版原稿を挙げたい。
 - 学会との議論は、来年度にずれ込むが前半にはまとめたい。
- 3月18, 19日に4FSの合同ワークショップ(国際会議)
 - 英語版資料PPT必要
- 2、3月のいずれかに、プログラム推進員会？
- 5月末: 第3回フルアプリ提供締切